

## 編集委員会からのお願い

### 一、年報第十五集の原稿募集について

本会の年報「村落社会研究」は、大会共通課題（報告にもとづく論文のほか、会員の投稿論文によって編集されています。次号の年報に投稿を御希望になる方は、次の要領で、大会当日までに編集委員会事務局（蓮見音彦）に御申込下さい。

(1) 論文は四〇〇字詰原稿用紙八〇枚を原則とし、原稿提出は、昭和五四年四月末日です。

(2) 申込にあたっては、論文題目（仮題でも可）に四〇〇字前後の要旨をそえて下さい。

(3) お申込いただいた方には、編集委員会で検討の上、あらためて執筆をお願いします。その際、執筆要領をお送りします。

(4) 御提出いただいた論文については、編集委員会で掲載するか否かを決定させていただきます。

### 二、年報第十四集の刊行について

「村落社会研究」第十四集が刊行されました。大会当日会場で頒布しますが、郵送を希望される方は、御茶の水書房（東京都千代田区神田神保町二一三六）に村研会員と明記して御注文下さい。定価四、〇〇〇円ですか、会員には二割引で頒布します。

### 第十四集内容

共通課題「村落生活の変化と現状―その主体的再編成をめぐって」

1. 木下謙治・山本陽三・佐々木衛「都市近郊農村における集落

の機能―農業と集落の主体的再編成をめぐって」

2. 岩崎信彦「『みかん危機』のもとでの村落生活の変化と主体的再編成―和歌山県有田市千田東地区のばあい」

3. 蓮見音彦「村落生活の変化と現状―大会共同討議のあらまし」

本間勝喜「羽州庄内における近世後期の農村の荒廃と復興」

高山隆三「西ドイツ農業政策の転換と農業構造の変化」

大内雅利・高田 滋「近郊農村における地域社会の変貌」

研究動向

1. 関 順也「史学・経済史学における村落社会の研究動向」

2. 大川健嗣「経済学における研究動向」

3. 山本英治「農村社会における研究動向」

4. 竹内利美「民俗学・社会人類学」